誌上行学講習会

高佐日煌上人

皆さんは今や百界心理の学問を学んで、人間の心の中にある種々相が解ったわけであります。心は常に一つの原則の上に動いていることが知らされたのであります。しかしこれを単に知っただけにとめていては、ボデイサドハ即ち菩薩に成ることが出来ない。そこで次の教程は心の組織を正確につかむ必要があります。このことを心理学と言っていますが、この心理学というのは大変な広い世界であり、本も無数に出ています。仏教では印度の世親菩薩が唯識という学問をつくりました。これは西洋の近代心理学と違って人間の心を深く掘り下げて行った研究ですが、やはり今日の立場で見るといささか古くなっているようであります。そこで私は近代心理学と唯識との綜合研究をしたのであります。そして我々人間の心を誰が見てもはっきり解るように、順序よく整頓したわけであります。これはたしかに大変な発見であると私自身おどろいている程であります。その発見というのは他でもない、第一に我々が自分だと思っているものが二つあるということだった。

人間は決して一人でなく本来二人だということが解つたのです。皆さんは如何でしようか。とにかくこれから学ぶ∧整識観∨によるとそれがはっきりいたします。自分は二人居るということが。そして本当の自分が働らいて心の上に動き出して来ると人間の普通出来ないことが出来るようになる。不思議のようですが事実なのです。近代の超心理学がこれを研究しているのですが、私はこれを自分で学び取りその研究成果を∧九識霊断法∨として世に出したのであります。人間は自分の持つ第九の識を使うことが出来る。この第九の識の自分が本当の自分でありますが、これによると神秘現象を正確に行使することが出来る。そういった人間の本当の心の奥の奥まで見つめて研究したのがこれから学ぶ整識観なのであります。

以下次号